



刑事法ジャーナル

Criminal Law Journal

第63号 (vol.63・2020)

巻頭言

犯罪被害者等支援条例制定の意義

椎橋 隆幸 3

特集 実行の着手の比較法研究

☆ 日本における実行の着手	佐藤 拓磨 4
☆ ドイツにおける実行の着手	二本柳 誠 12
☆ フランスにおける実行の着手	末道 康之 17
☆ イタリアにおける未遂開始時点について	東條 明德 22
☆ スペインにおける実行の着手	江藤 隆之 27
☆ アメリカにおける実行の着手	星 周一郎 32

特集 証拠の関連性

☆ 「証拠の関連性」概念を巡る学説と実務の現在 ——刑事裁判実務における「関連性」概念の機能再生に向けて——	佐々木一夫 38
☆ いわゆる科学的証拠の関連性について	峰 ひろみ 49

論説

・ 米国における司法取引を巡る公判実務	高田 浩平 55
---------------------	----------

外国刑事法務事情

・ 英国刑事法務事情(61)——LXI 2019年9月～11月の主要動向——	清野 憲一 82
--	----------

外国刑事法研究

・ カール-フリードリヒ・シュトゥッケンベルク「因果関係 (Causation)」 ——比較刑法ノート(20)——	比較刑法研究会 97
--	------------

刑事裁判例批評

(392) 解離性同一性障害と責任能力——解離性同一性障害の影響により心神耗弱が認められた事例—— ——東京高判平成30・2・27判時2409号118頁——	箭野章五郎 107
(393) 廃棄物処理法における不法焼却罪の量刑と公共の危険 ——広島高判令和元・7・18裁判所ウェブサイト——	野村健太郎 114